



ドキュメンタリー映画『レッド・パーズ』今に続く負の遺産の一場面より



大阪版  
No. 511

発行所  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒113-0034  
東京都文京区湯島 2-4-4  
平和と労働センター 全労連会館

大阪府本部  
〒543-0045  
大阪市天王寺区寺田町 2-6-2  
東大阪 (ARK) ビル 3F  
TEL・FAX 06-6772-7555  
振替 00910-6-53293

E-mail  
tidouosk@opal.plala.or.jp  
URL  
http://doumeinews.exblog.jp/

## 「戦争をする国」断固阻止、 レッド・パーズ被害者の名誉回復と国家賠償を

政治の夏も暑く自民党の総裁選候補選びのマスコミ報道は、国民の生活をよそにテレビジャックの感があります。自民党は2日に「憲法改正実現本部」の会議を開き、憲法9条の改定について、現行憲法を維持したうえで「9条の2」を新設し、自衛隊保持を明記する案を基本とするとしています。岸田首相は「複数のテーマを一括して国民投票にかけるべき議論を加速させる準備が整った。一気呵成に進めなければならぬ」とのべ、新総裁に9条を含めた改憲を引き継ぐよう求めました。戦力不保持と交戦権否認を明記した憲法に自衛隊を書き込めば、9条を空文化して、海外で無制限に武力を行使する「戦争をする国」になります。断固阻止しなければなりません。

### 私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

今から77年前の1947年に行政機関職員定員法制定に始まる人員整理に紛れて共産党員をレッド・パーズ。1949年から50年にかけて共産党員を狙い撃ちした公立学校教員、大学教員のパーズ。1950年にマッカーサー書簡によって日本共産党の中央委員24人の追放、アカハタの無期限の発行停止指令。レッド・パーズ被害者は4万人ともいわれています。戦後最大の人権侵害に早急に被害者の名誉回復と国家賠償が必要です。同時期に下山、三鷹、松川のGHQ?の謀略事件が起こり、容疑者に共産党員や労働組合の活動家を逮捕。闘って無罪判決を勝ち取りました。

※本誌4面に関連記事  
(大石喜美恵)

学習テキスト

「治安維持法とはなにか」

を読み合わせしよう

9月7日 府本部

学習会は「治安維持法とは何か」

(学習テキスト)の読み合わせ。  
(3、5面に関連記事あり)

大石会長あいさつ

関西万博の問題、いまだに協会は安全を宣言できない。自民党総裁選挙がマスコミをジャックし、それで旧統一協会、裏金問題、円安などの問題がうやむやなまま、総裁選で裸をしたことにしようとしている。自民党は改憲勢力として他党との合意をめざし「戦争する国」への道を開こうとしている。米軍の海外基地の資産評価は日本が突出して25兆円。この状態を変えるためにも次の総選挙が重要。

甲斐事務局長報告

自民党総裁選後に解散・総選挙の可能性大。近畿ブロック交流集会(9・23、24)。更なる参加を。仲間ふやしは、入会0退会13名。10月理事会の学習会は兵庫県本部の田中隆夫さんに「八鹿高校事件の本当の狙いは何だったのか」を話してもらおう。理事以外の参加を募る。(下段のお知らせに詳細)  
治安維持法100年プレ企画案「飯島喜美顕彰碑建立除幕式

署名推進委員会(森さん)

に参加するツアー(4面に別記)  
8月署名 累計869筆。年内目標5000筆、様々な集会に参加して積極的に署名活動。民主体回り、署名用紙預ける。今号の不屈に署名用紙同封。次回委員会9月19日(木) 13:30(3面に委員会報告の記事)

女性の会(柴田さん)

大阪母親大会で、署名を袋に入れて配布してもらった結果206筆集まった。全国大会は和歌山で開催なので大阪から5名が宿泊参加(うち2人はまだ同盟に入っていない)。1日参加者数予定。

財政(佐野さん)

カンパ活動は頑張っている。中央への上納50万。近畿ブロックでもCDはじめ書籍販売。

上山さん

関西勤労協・戦前の出版物を保存する会 第16回出版物展 9月21日(土) 10:30、ドーナセンター1階パフォーミングスペースで。入場無料。同日、鰻坂・吉井・林3先生の追悼学習会(13:15)。参加費1000円。

佐野さん

ドキュメンタリー映画「レッドパージ」完成(4面に詳細記事)

高槻・島本(田中さん)

学習会は台風で流れ、9月11日の役員会で仕切り直し。

北・福島(横山さん)

署名活動で25筆。幹事ひとり病気。代わりに民商から一人委員に。「レッドパージ」上映会も企画したい。各団体に署名担当者をお願いするのが大事。

枚方・交野(大島さん)

署名ゼロの月をなくす努力。用紙を板に挟んで必ず持参。戦争する国づくりは治安維持法現代版として話をしていく。

西淀川区(北野さん)

母親が会員の息子さんに家族会員になってもらうべく話をする。

堺(森さん)

堺で「伊藤千代子」映画会4回目予定している。

生野区(岸野さん)

連れ合いさんが会員の方に家族会員は会費半額ということに入ってもらった。

大石会長まとめ

「レッドパージ」の映画で学習会を計画の支部あり、署名用紙に訴えも入れたら沢山返ってきた。

対外的には戦争、国内的には弾圧という状況を認識するためにも学習テキスト「治安維持法とは何か」普及を。  
テキストをカバンに入れて活用。読み合わせは70分くらいで出来る。

お知らせ

治安維持法100年プレ企画 第2弾!

10月5日(土) 兵庫県本部副会長の田中隆夫さんをお招きして「八鹿高校事件の本当の狙いは何だったのか」について話して頂きます。

50年前兵庫県では、大阪に続き革新新政が生まれそうな状況でした。その時の兵庫県知事は3代続けて元特高官僚でした。社共共闘を恐れた元特高官僚知事たちが打った手は・・・治安維持法・特高と切っても切れない恐ろしいお話が伺えそうです。13時30分から約80分間です。

10月5日(土) 田中隆夫氏講演会 13時30分、14時50分  
その後、10月理事会を開催 15時00分、16時30分

会員は誰でも 参加出来ます。

『治安維持法とは何か』を読もう

組織・財政委員会の報告

組織・財政委員会では、中央本部作成のテキスト『治安維持法とは何か』を同盟員全員が読む運動をすすめるように話し合いました。

9月の三役会と理事会でも読み合わせをしましたが、各支部役員会でも読み合わせを行い、支部主催の読み合わせも計画して欲しいと考えています。

治安維持法百年を迎えるにあたり、『治安維持法とは何か』を会員みんなで再検証し、初心に帰り、もう一度新たなエネルギーを引き出して、運動の大きなうねりをつくり出しましょう。

そして「私たちの運動の基本」

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること

三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

の早急な実現を目指しましょう。  
具体的には、隊列を大きくするために

「会員を増やすこと」が

求められま

す。各支部

毎月2人の

仲間ふやし

の実現を必

ずやり切る

支部建設を

しましょう。

(甲斐)



菅野須賀子研究会のお知らせ

- 第84回研究会  
日時 9月28日(土)  
報告者 岡澤 文彦さん  
(子どもと教科書大阪ネット21運営委員)  
テーマ 小中学校の教科書は、今どうなっているか。
- 第85回研究会  
日時 10月26日(土)  
報告者 石塚 伸一さん(龍谷大学法学部名誉教授・日本犯罪学会元会長)  
テーマ 大逆事件記録公開の意義(仮題)
- 第86回研究会  
日時 11月23日(土)  
報告者 上山 慧さん  
(菅野須賀子を顕彰し名誉回復を求める会事務局長・治安維持法同盟大阪府本部事務局次長)  
テーマ 大逆事件と横浜事件(仮題)

※いずれも  
日程 毎月第4土曜日午後1時30分～4時  
会場 国労大阪会館2階第2小会議室  
参加費 500円  
※問い合わせ先  
〒543-0045

大阪市天王寺区寺田町2-6-2 ARKビル3階  
TEL・FAX 06-6772-7555  
tidouosk@opal.plala.or.jp  
菅野須賀子を顕彰し名誉回復を求める会

年末までに5000筆を集めよう!

署名委員会 森 秀三

8月22日府本部での署名委員会では、来年5月の国会請願に向けて、署名行動をどう展開していくのか、意見を交わしました。5名出席。  
大島委員 唯一生存している「生活図画」の犠牲者・菱谷さんは、絵を書いていた仲間26人の中へ特高が飛び込んできて「マルクスと書け」と言われ、何が何だかわからず「マルクス」と書いただけで検挙された。また小学4年生の子どもが、米機機の飛来を迎え撃つ日本軍の弾は敵機に届かないという事実を級友に告げたため検挙された。この様な具体的な事実を話しながら署名を訴えることが大事ではないか。

佐野委員 来年は治安維持法が出来て百年になることを皆に知らせ、署名に弾みをつけよう。学習テキスト「治安維持法とは」をよく読んで力をつけよう。

決めたこと

- ①年末までに5,000筆を集める。
- ②府内各地の集会で署名行動をさせて貰う。
- ③各協力団体に署名依頼の訪問をする。

具体的な行動予定については次回9月19日(木)午後2時～府本部事務所で開催する委員会で話し合う。

※『不屈』今月号に「黄色い署名」と「封筒」を折り込んでいます。読者の皆さん!何筆でも構いません、是非府本部にお送りください。

ドキュメンタリー映画  
『レッドページ 今に続く負の遺産』の試写会リポート

副会長 佐野彰義

見送られてきた。

2022年日本弁護士会が政府と企業に対し「名誉回復や補償を求めた適切な措置」を行うよう勧告、同年3月22日に発表。同



8月26日(月)大阪市内のレッドページ反対大阪連絡センターで記録映画の試写会と役員会議があった。  
2019年の大阪連絡センター総会でレッドページ70年・大阪の集いが開催予定だったが、コロナ感染拡大により延期されてきた。  
病氣療養中だった事務局長の山田隆義さんが逝去された後、松本文男さんが新事務局長に就任、その後もコロナ禍が続き役員会、総会の開催が

じ日にレパ反対大阪連絡会、同弁護団、レパ被害者も記者会見を行った。この間に大阪連絡センター共同代表5人が亡くなられ、車椅子生活ながらお元氣なのは山本一さん(新田帯革)のみになっている。  
当面今後の運動の流れとして、ようやく完成したドキュメンタリー映画「レッドページ」今に続く負の遺産」の上映会を広く広める事とする。当面大阪として100枚の

各地での 8・15 宣伝行動



大島理事 上六で平和遺族会として宣伝行動をしました(写真)。

柴田理事 アリオ八尾前で13名で宣伝行動。うち10名が同盟員でした。

※他地域でもたくさんの行動がありました。

治安維持法 100年プレ企画第3案

飯島喜美顕彰碑建立除幕式に参加するツアー

- 場所 千葉県旭市の建立場所
- 日時 12月18日(水)～19日(木)
- 募集人員 20名

※これから千葉県本部と相談しながら決めていきます。場所と期日、募集人員だけ決めています。

DVDを広める。取っ掛かりとして10月8日にグリーン会館にて上映会を行う。

政府は名誉の回復と賠償を

日本共産党員やその支持者であることを理由にレッテルを貼られ、職場を追われたのがレッドページ。戦後の日本で、労働運動が活発だった公務や民間の職場から無法・不当な解雇や免職処分を受けた事件です。ページされ75年を迎える今日、日弁連などの救

濟勸告に背を向け続ける政府に名誉回復と賠償を求めて運動を進めています。

運動を広めるためにDVDの普及にご協力ください。

DVD/75分  
頒価1500円

※DVDの販売期日は未だ発表されていません。

『不屈』読者の皆様には、発表があり次第誌面にてご報告いたします。

学習テキスト

『治安維持法とは何か』

読み合わせ

本誌3面で組織・財政委員会の報告でも取り上げています。9月3日、府本部三役会も冒頭の80分間を使って、7人で『治安維持法とは何か』の読み合わせを行いました。

中央本部が心血を注いで作り上げたテキストです。大変素晴らしい読み応えのある内容で、一同万感胸に迫るものがあり、読後はしばらく静寂につつまれました。初心に帰り、新たなエネルギーが湧き出す瞬間でした。

はじめにの項で吉田万三会長は、今では治安維持法を知らない人も多く、とりわけ若い世代で顕著である。だからこそ私たちが、①治安維持法とはどのようなものだったのか？ ②戦争国家とこの弾圧体制が不可分のものであったことは、現在の大軍拡による戦争国家づくりと極めて類似している。③治安維持法体制を推進した、特高警察幹部をはじめ思想検事や軍関係者たちが何の反省もなく、知らぬ顔で復活し現在の自民党政治を動かしている。④デジタル

化され、リニューアルされた治安維持法体制は決して昔話ではなく、日本が明るく自由な社会へと進んで行くためには、闘いを避けて通れない問題である等々について、学習を深めて欲しいと訴えています。

テキストは国賠同盟の成り立ちから書き起こしているのので、その世界にすんなりと引き込まれていきます。

同盟は1968年3月15日、日本共産党への大弾圧(「3・15」事件)40周年記念の年に、犠牲者200人によって結成。

何故「裁判闘争」ではなく「国家賠償法の制定」の道を選んだのか。

裁判闘争は、犠牲者が被害の実態を証明することが必要ですが、しかし、それを立証する為の物的証拠や資料の殆どは敗戦前夜のどさくさに大量に焼却処分され、処分を免れた証拠資料も殆ど権力が握っており、権力の協力なしに原告が独自に調査、立証することは不可能です。しかも、原告中心の闘いとなり、仮に勝訴しても、賠償されるのは原告のみで一般の犠牲者には及びません。

そこで同盟は、裁判闘争ではなく、全ての犠牲者を一括して

救済する「国家賠償法の制定」を国会に要請する「国会請願運動」を基本方針とし、それに向けて毎年、全国で「国会請願署名」をあつめ、国会請願を展開して来ました。

国会請願は2024年5月に51回目を迎えました。提出した請願署名数は累計で1028万筆を超え、請願の趣旨に賛同し、紹介議員となつて頂いた国会議員は約120人に広がつてきています。

この国家賠償法の制定を求める運動に関して、弾圧を経験した犠牲者がいなくなった場合どうするのが問題になります。戦争弾圧犠牲者の勇敢な闘いを後世に引き継ぐ活動の世界の趨勢は、戦時の賠償権を2世、3世の遺族が相続するのが一般的な流れとなつていきます。私たち同盟もそういう方向で対応して行きたいと考えています。

政府に治安維持法が人道に反する悪法であることを認めさせ、犠牲者に謝罪・賠償をさせ、犠牲の実態を調査させる事は「再び戦争と暗黒政治を許さない」文字通り、「戦争と弾圧」の歴史に決着をつけることであり、今につながる治安維持法体制ともいべき政治の歪みを正

していく大きな力になります。再び戦争と暗黒政治を許さない為に「治安維持法国賠同盟」の役割はますます重要になっていきます。

同盟設立の趣旨と何故署名運動なのかは、仲間ふやしの時によく聞かれる事ですのでテキストから抜粋して掲載しました。是非『テキスト』を御購入下さい。

ご注文は府本部へFAXかメールを。  
一冊500円(送料200円)。(甲斐)

【読者からの便り】

●年々暑さが厳しくなり77歳の身体にガタが来ています。「緑のカーテン」となるはずのゴーヤも実が大きくならず例年よりずっと小さいままで黄色になつてしまつていきます。(吹田市藤嶋貝治さん)

●マイナカードも保険証もつくりません！便利になるどころか、不便な事ばかり、さんざん予算をつぎ込んで、国民生活向上には繋がらない。米不足にも何ら対策もない、岸田退陣は当然だ！(守口市土井弘之さん)

## 横浜事件 戦時下最大の言論・思想弾圧 (第十九回)

### 細川嘉六の生涯と論文「世界史の動向と日本」

#### ⑩「世界史の動向と日本」とは

上山 慧(府本部事務局次長)

細川の論文「世界史の動向と日本」は、総合雑誌『改造』一九四二(昭和一七)年八月号・九月号に掲載された。細川については、一九七二〜一九七三年にかけて『細川嘉六著作集』全三巻が理論社から出版されており、「世界史の動向と日本」も第三巻「アジアと日本」に所収されているが、これは戦後まもなくの一九四六(昭和二一)年に伊藤書店から出版されたもの



『改造』 筆者所蔵

をそのまま収録している。伊藤書店版の「世界史の動向と日本」は、連合国軍の占領下に出版されたことも一因と思われるが、『改造』掲載論文の最後の五頁ほどのところが削除され、きわめて短く要約されたかたちで結ばれているなど、『改造』掲載分とは大きく違いがある。

「世界史の動向と日本」は、二回にわけて掲載されているように、四〇〇字詰め原稿用紙一六〇枚に及ぶ長文で、全七章で構成されている。両号とも二二頁ずつ、併せて四四頁にも達する。当時『改造』編集部に勤務していた青山鉞治(憲三)によれば、「はじめは八月号に全部掲載の予定だったが、当時の用紙統制の都合で百六〇枚の長編論文はどうにも他の企画とのやりくりがつかず、やむをえず二号に割った」という(青山憲三『横浜事件元「改造」編集

者の手記』希林書房一九八六年)。戦後、細川は伊藤書店版の「世界史の動向と日本」の序文で、この論文の要約を次のように述べている。

「『世界史の動向と日本』は、言論の極度の弾圧下にゆがめながらも人類の過去六千年の歴史が現代に至って達成しつつある、文明的文化的成果と問題とを概論し、この世界史の動向に鑑み、大和民族の戦時及び戦後における任務、即ち民主主義の徹底の実現を主張せんとしたものである。これに対し軍事的警察的政府は、簡単に筆者をマルクス唯物史観説の全き信奉者、共産主義の全き宣伝者とし、且つ又筆者この拙論において全国民の認識を正しくするために、且

独ソ戦争については、どちらかと言えばソ連に勝ち目ありとし、ヒトラー・ナチズムのドイツ至上主義は、我が支配階級の国体至上主義と同様に妄想でありとし、更に戦争後にソ連が世界平和と進歩のために占むる地位に、重大なるものありとし諸点を以て、筆者を戦争反対

者として断罪せんとしたのである。しかし、筆者が支配階級によつて惹起された暴虐なる戦争も、民主主義の徹底の実現への全国民の努力によつて、現在の如き我が史上空前の国民的大厄災を免れ、更に進んで輝ける大和民族の将来を打開する、幸運をもたらすべきものであると信じていたことは、拙論を冷静に読む人の理解されるところである。」(『細川嘉六著作集』第三巻理論社一九七二年)

この論文は、『改造』八月号の巻頭論文で、表紙には長谷川如是閑・和辻哲郎らによる「国家と学問(座談会)」とならべて「世界史の動向と日本 細川嘉六」と赤く刷り出されている。九月号の表紙には「特輯 印度独立と日本」が赤字で刷り出されており、巻頭論文として平貞蔵(思想家)「英帝国の崩壊と印度の独立」がおかれ、その次に「世界史の動向と日本」の続きが掲載されている。「世界史の動向と日本」はまさにこの時期の『改造』を飾る大論文であったといえよう。(つづく)



### 子どもたちに健全な教科書を贈りたい

#### 亡霊のような令和書籍の

#### 歴史教科書

来年度から使用される、中学校教科書の選定が、教育委員会で行われており、憲法改悪の動きの加速化、道徳の教科化、家族制度復活の動き等々、気になる政治の動向があり、教科書の閲覧と教育委員会への傍聴をした。

特に、平和憲法のもとで戦争がどのように記述されているかが知りたくて、令和書籍の歴史教科書を閲覧して驚いた。まるで戦前の皇国史観が蘇ったのかと思える。天皇制を頂点とする国の成り立ちが記述され、悪政のもとで庶民の抵抗の闘いがあったことにはまったく触れられていない。教育には史実をありのままに知らせ、子どもたちがどう理解するか、教師は資料を提供して共に考える姿勢が重要だと考えている。自民党政治が長く続く中で、教科書から従軍慰安婦の記述が削除さ

れるなど、権力者に都合の悪い史実は隠蔽する動きが強まっている。令和書籍を確定し審査の対象にする文部省の不見識を問わなければならぬ。幸い、在任する吹田市では、不採用になった。これからも運動を力に、健全な教科書を子どもたちに贈りたい。

吹田・摂津支部 橋本恵美子

#### 教科書の

#### 「冤罪事件」の扱いは

私の誕生の1953年に徳島ラジオ商殺し事件が起こり、叔母が映画「証人の椅子」にエキストラに参加したので、子ども心に覚えています。犯人とされた富士茂子さんは、阿波女性の心いきで出所後再審の闘いで、死後に32年後無罪を勝ち取りました。教科書では、どう冤罪を扱われているか興味がありました。58年前の事件袴田さんの判決がやっと9月26日です。自由社は「単に疑わしいと

いうだけでは被告人を有罪にすることはできません」帝國書院は「裁判をやり直す再審請求ができません」育鵬社は冤罪犠牲者には「不当に身体を束縛されていた日数分が支払われます」とあります。実際はどうでしょうか。

再審請求手続き規定が整備

されていません。再審開始決定に検察側が不服申し立て、判決までに時間がかかります。無罪になっても、お金にはかえられません。ご本人と支援者の方々の長年の苦労、頑張りが全く書かれていないのです。

西淀川区 北野倫子

### 関西平美展

第72回関西平和美術展が7月24〜28日、堺市立文化ギャラリーで開かれ、159人199点の作品展示。世界の戦乱、沖縄の米軍基地建設や原発反対の闘い、被災地への思いから日常風景まで、絵画、写真、書、彫刻、工芸など平和への願いを表現していました。74人で「平和の壁」を表現した企画展「ウクライナとガザと世界に平和を」、特別展示「広島の高校生が描いた原爆の絵」が目を引いていました。同盟のなかまも多く出展していました。来年からは以前の天王寺美術館で開催の予定。

(佐野)



文芸欄

俳句

安村 和義

秋暑し

父母のいのち動きし敗戦日

戦争を捨つる日はいつ夕焼雲

戦争の報道萎む秋暑し

語らねば平和危うしつくつくし

鶴彬あふるる反戦さるすべり

川柳

岩佐 ダン吉

〈鶴彬・この一句〉(123)

いずれ死ぬ身を壁に寄せかける

・在営中、月日不明の句とある。

恐らく治維法違反で大阪城・衛戍監獄の時  
代か。「壁に身を」いずれ死がくるのに」と

〈私の時事吟〉

彬忌(9月14日)に私のペンが問われてる

短歌

武田 俊郎

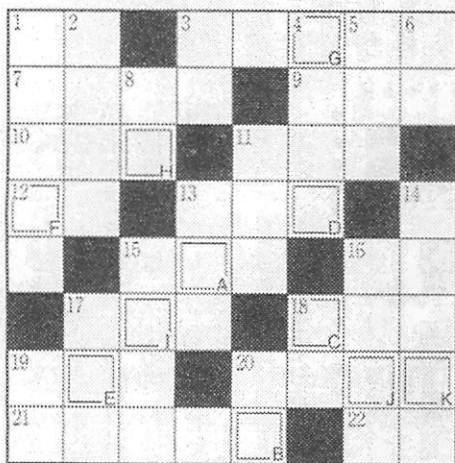
理不尽の政治許さず

総裁選のテレビ報道なさけない違法裏金づく  
り免罪

「公益通報」扱いせずに自らの身をかばうだ  
け維新県知事

クロスワードパズル

カギを解きアルファベット順に並べて出  
来る文句を答えましょう



答え A B C D E F G H I J K

◆タテのカギ◆

- 1 安産・子育ての神。キ  
ンボジンとも
- 2 審判員の中の主たる人
- 3 古い歌、古人の歌
- 4 田畑の耕作。——物
- 5 船団の中心となる親船
- 6 割合。——が高い
- 8 光沢。顔の色——
- 11 失望。得意の対
- 13 とっぴ。——な服装
- 14 グライダー
- 15 憂鬱になり——をつく
- 16 ——貸し、——金庫
- 17 自分で自分を戒める
- 18 麻雀用の駒
- 19 大阪市北部の繁華街
- 20 朝から——まで

◆ヨコのカギ◆

- 1 陸地が水と接する所
- 3 ♪屋根より高い——
- 7 荷物を積み出すこと
- 9 左折の対
- 10 実物そっくりに写す
- 11 試験的に行う計算
- 12 いくさ。大坂夏の——
- 13 蹴ること。——オフ
- 15 多く売る。薄利——
- 16 へや。化粧——
- 17 エラー続きで——した
- 18 タイヤが——した
- 19 教育の——均等
- 20 微生物などを人工的に  
発育・増殖させること
- 21 空気存在する範囲
- 22 乾季の対

クロスワードパズル 正解者、の中から厳  
正な抽選により1名の方に『治安維持法と  
現代』2024年春季号No.47を進呈します。  
ハガキに(FAX・メールでも可能)回答と、  
余白には、身近に生起する出来事などを書  
いてお送りください。

〒543-0045  
大阪市天王寺区寺田町2-6-2 ARKビル3階  
治安維持法同盟大阪府本部 機関紙編  
集委員会宛 TEL/FAX 06-6772-7555  
E-mail tidouosk@opal.plala.or.jp

【編集後記】 自民党総裁選と  
それに続く総選挙の準備▲岸  
田首相の最後のジタバタ▲最  
悪な「憲法改悪」のたくらみ  
阻止行動▲キリのない悪たく  
みと闘いながら、学習テキス  
ト『治安維持法とは何か』の  
読み合わせと普及活動▲ド  
キメンタリー映画『レッド・  
ページー』今に続く負の遺産  
視聴と普及活動▲特に、学習  
テキスト『治安維持法とは何  
か』の読み合わせ活動は全て  
の闘い・行動の基礎になる  
ものです▲是非お読みくださ  
い。(甲斐)